

# 高溶解性アミドエーテル系溶剤

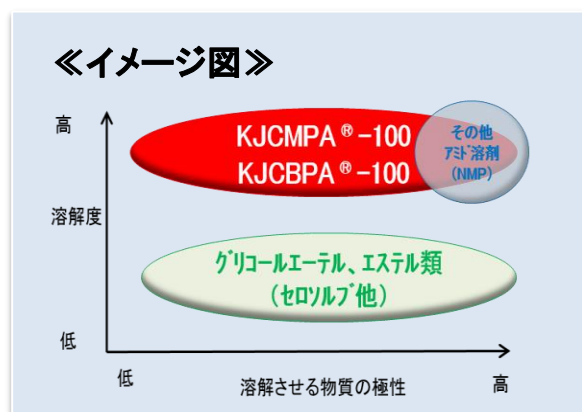
## KJCMPA<sup>®</sup>-100 KJCBPA<sup>®</sup>-100

◆ **高溶解性、両親媒性**  
⇒NMP代替溶剤

◆ **低接触角**  
⇒塗料・インキ用溶剤

### 難溶解性ポリマーの溶解性が高い！

- ▶ KJCMPA<sup>®</sup>-100、KJCBPA<sup>®</sup>-100は、溶解させる物質の極性が幅広く、**ポリイミドやポリウレタン等の難溶解性ポリマーの溶剤**として使用が可能です。
- ▶ また、NMPと比較して低皮膚刺激性であり、**安全性の高い溶剤**です。



**ポリイミド前駆体の合成**

濃度:23.8wt% 温度:40°C Mw:34.3万

KJCMPA<sup>®</sup>-100  
完全溶解

NMP  
白濁

### 両親媒性の高いアミドエーテル系溶剤！

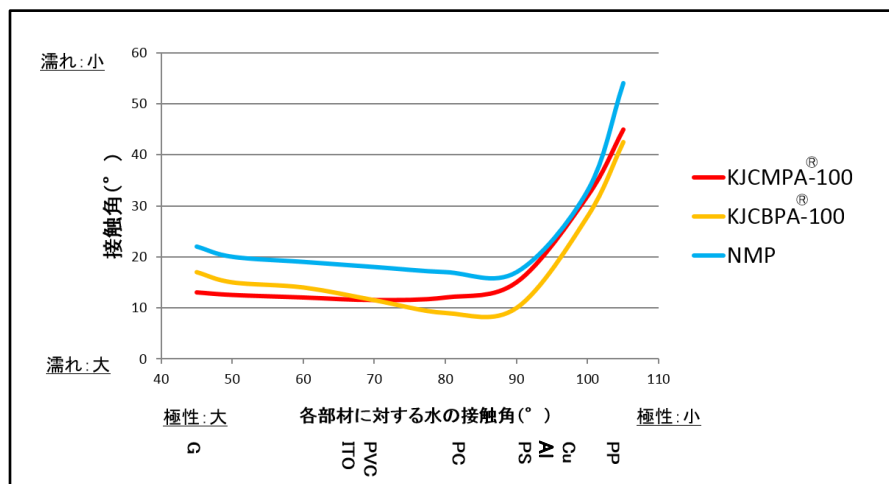
溶剤	溶質	水	グリセリン	p-アミノフェノール	n-ヘキサン	流動パラフィン
KJCMPA <sup>®</sup> -100		○	○	○	×	×
KJCBPA <sup>®</sup> -100		○	○	○	○	○
NMP		○	○	○	×	×

### 試験方法

溶質 / 溶剤 = 1/1(重量比), 室温条件で相溶性試験を実施。  
○:完全相溶, ×:非相溶

## 接触角が低く、基材への濡れ性が良い！

- ▶ 例えばインクジェットインキ用の溶剤等にも最適で、プリンターの吐出安定性やインキの貯蔵安定性・印字性の向上も期待できます。



### 各部材

G : ガラス  
 ITO : 酸化インジウムスズ  
 PVC : ポリ塩化ビニル  
 PC : ポリカーボネート  
 PS : ポリスチレン  
 Al : アルミ  
 Cu : 銅  
 PP : ポリプロピレン

## 性状データ

性状	KJCMPA <sup>®</sup> -100	KJCBPA <sup>®</sup> -100	NMP (参考)
APHA	5	5	30
沸点 (°C)	215	252	204
融点 (°C)	<-80	-17	-24
密度 (20°C:g/cm <sup>3</sup> )	0.99	0.94	1.03
粘度 (20°C:mPa·s)	2.3	3.6	1.8
表面張力 (23°C:mN/m)	34.2	29.3	38.6
蒸気圧 (20°C:kPa)	0.076	0.002	0.032
SP値	10.5	9.8	11.5
引火点 (開放式:°C)	116	140	91
消防法 (危険物分類)	第4類第3石油類	第4類第3石油類	第4類第3石油類
急性毒性 (経口マウスLD50:mg/kg)	>2,000	300-2,000	4,150
変異原性 Ames試験 (染色体異常試験)	陰性	陰性	陰性
皮膚刺激性 (P.I.I.)	0	N.A.	0.5

※国内及び海外での登録がございます。詳細は別途お問い合わせください。

※ご使用に際しては、SDS記載の取り扱い方法をご確認ください。

(制作:2021,9,30)

www.kjchemicals.co.jp

Sales dept. TEL: 03-3242-3020 FAX: 03-3242-3077

**Kj** ケミカルズ株式会社